



2020年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2019年11月8日

上場会社名 株式会社 トラスト

上場取引所 東

コード番号 3347 URL <http://www.trust-ltd.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 賢司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 谷中 一晴

TEL 052-219-9058

四半期報告書提出予定日 2019年11月8日

配当支払開始予定日

2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	9,755	3.1	749	1.8	714	0.0	207	6.8
2019年3月期第2四半期	10,071	12.9	762	35.4	714	33.7	222	18.1

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 450百万円 (8.2%) 2019年3月期第2四半期 416百万円 (23.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	8.03	
2019年3月期第2四半期	8.61	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	28,958	9,925	23.5	262.98
2019年3月期	29,284	9,562	22.7	256.40

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 6,805百万円 2019年3月期 6,635百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		2.50		1.50	4.00
2020年3月期		2.00			
2020年3月期(予想)				2.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,000	3.7	1,450	0.3	1,350	5.1	500	38.5	19.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	28,150,000 株	2019年3月期	28,150,000 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	2,273,100 株	2019年3月期	2,273,100 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	25,876,900 株	2019年3月期2Q	25,876,900 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、設備投資が改善し、雇用環境は引き続き良好ですが、内需動向は消費税増税による影響等で個人消費は伸び悩んでおります。世界経済におきましては米中間の貿易摩擦問題や英国のEU離脱など世界経済に与える不確実性が高まっていることも影響し、中国や欧州を中心に減速の動きが見られ、先行き不透明感が強まる状況で推移いたしました。

このような状況のなか、当社グループは、中核事業として海外市場をターゲットとしている中古車輸出事業、国内で安定的な成長を続けるレンタカー事業、さらに南アフリカ共和国において海外自動車ディーラー事業の3つの事業を行っており、安定した収益力のある事業体の構築を目指しております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高9,755百万円(前年同期比3.1%減)、営業利益749百万円(前年同期比1.8%減)、経常利益714百万円(前年同期比0.0%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益207百万円(前年同期比6.8%減)となりました。

① 中古車輸出事業

中古車輸出業界においては、ニュージーランドにおける横滑り防止装置の義務化といった仕向国における規制の変更や一部仕向先国における税制変更等に起因し輸出先国の情勢に変化が生じております。アラブ首長国連邦、ロシア、ジョージアといった新たな輸出先国が台頭してきてはいるものの、全体では従前中心であったニュージーランドをはじめミャンマー等の減速が響いたことにより、当第2四半期連結累計期間における業界全体の輸出台数は64.9万台(前年同期比3.8%減)となりました。

このような状況のなか、アジア地域においてはB2B取引先との関係強化により、またヨーロッパ地域においてはオークションサービスの強化により輸出台数は増加したものの、主な販売先であるアフリカ地域を含むその他の地域への輸出台数が依然低迷しており、当社グループの輸出台数は1,990台(前年同期比13.1%減)となりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高2,876百万円(前年同期比11.7%減)、営業利益53百万円(前年同期比36.7%減)となりました。

② レンタカー事業

レンタカー業界においては、車輛の所有から利用への流れのなか、レンタカー需要の高まりを受け事業者数及び登録台数ともに年々増加し、市場規模が拡大するとともに競争も激化しております。

このような状況のなか、当社グループは、当期においてF C店の富士吉田店(静岡県)、研究学園駅前店(茨城県)を新規出店し、直営店及びF C店の総店舗数は156店、総保有台数は19,677台(前年同期比13.4%増)となり、新規出店等によるコストの増加もありましたが、売上の増加や台当たり粗利益の改善等により、営業利益は前年同期を大幅に上回りました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高5,564百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益777百万円(前年同期比7.4%増)となりました。

③ 海外自動車ディーラー事業

南アフリカ共和国においては、失業率上昇と景気悪化への不安から8月まで続いていたデモが小売産業に悪影響を及ぼしていたが、デモの動きが沈静化し若干ながら景気復調の兆しを見せている。しかしながら依然黒人若年層の失業率が55%以上という異常な状況が続いており、今後の経済成長潜在性の低下や治安悪化の懸念が残る状況が続いており、2019年1-9月期の新車販売台数は39.7万台(前年同期比3.6%減)となりました。

このような状況のなか、当社グループは、南アフリカ共和国でスズキディーラー3店舗、プジョーディーラー3店舗の計6店舗を運営しており、新車販売台数は合計543台(前年同期比19.9%増)、中古車販売台数は合計505台(前年同期比18.5%減)となり、前年同期と比べて店舗数が減少したことと併せ、販売台数及び利益ともに業績は低調な結果となっております。

その結果、当第2四半期連結累計期間における業績は、売上高1,418百万円(前年同期比20.9%減)、営業損失76百万円(前年同期営業損失44百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて3.0%減少し、15,102百万円となりました。これはリース債権及びリース投資資産564百万円が減少したことなどによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%増加し、13,855百万円となりました。これは有形固定資産が163百万円増加したことなどによります。

その結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて1.1%減少し、28,958百万円となりました。

② 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1.8%減少し、16,208百万円となりました。これはリース債務が779百万円減少したことなどによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて12.2%減少し、2,824百万円となりました。これはリース債務が349百万円減少したことなどによります。

③ 純資産

純資産は、前連結会計年度末に比べて3.8%増加し、9,925百万円となりました。

④ キャッシュ・フロー

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ60百万円増加し、839百万円となりました。なお、当第2四半期連結累計期間における連結キャッシュ・フローの状況は以下のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、営業活動の結果獲得した資金は2,247百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益724百万円、減価償却費1,978百万円があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、投資活動の結果使用した資金は993百万円となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出1,417百万円があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において、財務活動の結果使用した資金は1,187百万円となりました。これは主にリース債務の返済による支出1,678百万円があったことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

中古車輸出事業につきましては、WEBサイトを通じたB2C販売の拡充、継続的なB2B販売先の新規開拓、部品販売の強化等により売上の拡大に努めてまいります。レンタカー事業につきましては既存出店エリア及び空白エリアへの新規出店を推進し、より利便性の高い店舗網を構築してまいります。海外自動車ディーラー事業につきましては、新規店舗及び既存店舗の収益改善を継続的に行い、売上拡大及び利益向上を図ってまいります。

なお、2019年5月10日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。今後何らかの変化がある場合は適切に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	778,133	839,010
受取手形及び売掛金	1,972,359	2,119,997
リース債権及びリース投資資産	10,434,725	9,870,335
商品及び製品	1,451,889	1,626,019
仕掛品	4,033	3,511
原材料及び貯蔵品	23,953	22,985
その他	919,878	627,006
貸倒引当金	△9,275	△6,273
流動資産合計	15,575,698	15,102,592
固定資産		
有形固定資産		
リース資産（純額）	5,339,782	4,816,547
土地	3,465,921	3,427,457
その他（純額）	3,923,051	4,648,499
有形固定資産合計	12,728,756	12,892,504
無形固定資産		
のれん	74,947	66,258
その他	56,852	53,505
無形固定資産合計	131,799	119,764
投資その他の資産		
その他	881,898	878,544
貸倒引当金	△33,298	△34,992
投資その他の資産合計	848,599	843,551
固定資産合計	13,709,156	13,855,821
資産合計	29,284,854	28,958,414
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	526,811	432,900
短期借入金	1,000,000	1,600,000
1年内返済予定の長期借入金	43,224	31,084
リース債務	13,186,259	12,406,318
未払法人税等	337,964	257,699
賞与引当金	126,376	108,001
その他	1,283,910	1,372,119
流動負債合計	16,504,546	16,208,121
固定負債		
長期借入金	26,985	17,513
リース債務	3,006,153	2,656,820
役員退職慰労引当金	7,663	8,442
資産除去債務	43,508	43,644
その他	133,835	98,404
固定負債合計	3,218,145	2,824,824
負債合計	19,722,692	19,032,945

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,349,000	1,349,000
資本剰余金	1,174,800	1,174,800
利益剰余金	4,779,480	4,948,321
自己株式	△618,209	△618,209
株主資本合計	6,685,071	6,853,912
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	17,403	28,410
為替換算調整勘定	△67,406	△77,130
その他の包括利益累計額合計	△50,002	△48,720
非支配株主持分	2,927,092	3,120,275
純資産合計	9,562,161	9,925,468
負債純資産合計	29,284,854	28,958,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	10,071,974	9,755,442
売上原価	7,419,266	7,056,171
売上総利益	2,652,707	2,699,270
販売費及び一般管理費	1,889,799	1,949,903
営業利益	762,907	749,367
営業外収益		
受取利息	4,765	7,054
受取配当金	2,658	2,544
受取補償金	6,130	6,061
その他	4,159	7,559
営業外収益合計	17,714	23,220
営業外費用		
支払利息	51,302	45,045
為替差損	13,923	12,371
その他	1,025	535
営業外費用合計	66,251	57,953
経常利益	714,370	714,634
特別利益		
固定資産売却益	—	10,825
特別利益合計	—	10,825
特別損失		
固定資産除却損	1,506	121
固定資産撤去費用	2,087	595
特別損失合計	3,594	717
税金等調整前四半期純利益	710,776	724,742
法人税、住民税及び事業税	278,152	260,902
法人税等調整額	△12,969	14,583
法人税等合計	265,183	275,486
四半期純利益	445,592	449,256
非支配株主に帰属する四半期純利益	222,811	241,590
親会社株主に帰属する四半期純利益	222,781	207,665

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	445,592	449,256
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,852	10,926
為替換算調整勘定	△32,222	△9,724
その他の包括利益合計	△29,370	1,202
四半期包括利益	416,222	450,458
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	193,382	208,948
非支配株主に係る四半期包括利益	222,839	241,510

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	710,776	724,742
減価償却費	1,832,108	1,978,380
のれん償却額	3,337	3,090
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	979	△967
賞与引当金の増減額 (△は減少)	9,313	△18,375
受取利息及び受取配当金	△7,424	△9,599
支払利息	51,302	45,045
為替差損益 (△は益)	△403	△2,876
固定資産売却損益 (△は益)	—	△10,825
固定資産除却損	1,506	121
売上債権の増減額 (△は増加)	△364,459	△153,934
たな卸資産の増減額 (△は増加)	179,318	155,209
仕入債務の増減額 (△は減少)	△70,481	△75,702
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△12,269	△61,054
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	21,516	△77,024
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	260,030	154,699
その他の固定資産の増減額 (△は増加)	△1,586	5,631
その他の固定負債の増減額 (△は減少)	△1,227	△30,084
その他	△130	914
小計	2,612,206	2,627,391
利息及び配当金の受取額	7,284	9,467
利息の支払額	△55,353	△47,632
法人税等の支払額	△197,344	△341,746
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,366,792	2,247,480
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△557,546	△1,417,066
無形固定資産の取得による支出	△15,573	△11,572
有形固定資産の売却による収入	—	47,269
貸付金の回収による収入	921	400,798
敷金及び保証金の差入による支出	△36,103	△18,446
敷金及び保証金の回収による収入	1,762	7,038
その他	15,150	△1,367
投資活動によるキャッシュ・フロー	△591,389	△993,345
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	380,000	600,000
長期借入金の返済による支出	△446,912	△21,612
配当金の支払額	△38,812	△38,824
非支配株主への配当金の支払額	—	△48,327
リース債務の返済による支出	△1,748,048	△1,678,311
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,853,772	△1,187,074
現金及び現金同等物に係る換算差額	△5,727	△6,183
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△84,096	60,877
現金及び現金同等物の期首残高	978,835	778,133
現金及び現金同等物の四半期末残高	894,738	839,010

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2018年4月1日 至2018年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	3,238,792	5,041,087	1,792,094	10,071,974	—	10,071,974
セグメント間の 内部売上高又は振替高	17,085	100,854	—	117,939	△117,939	—
計	3,255,877	5,141,941	1,792,094	10,189,914	△117,939	10,071,974
セグメント利益又は損失(△)	85,032	724,112	△44,860	764,285	△1,377	762,907

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,377千円には、のれん償却額△3,337千円、棚卸資産の調整額1,959千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	中古車輸出 事業	レンタカー 事業	海外自動車 ディーラー 事業			
売上高						
外部顧客への売上高	2,859,405	5,477,759	1,418,277	9,755,442	—	9,755,442
セグメント間の 内部売上高又は振替高	16,812	86,361	—	103,174	△103,174	—
計	2,876,218	5,564,121	1,418,277	9,858,616	△103,174	9,755,442
セグメント利益又は損失(△)	53,840	777,634	△76,374	755,100	△5,732	749,367

(注) 1 セグメント利益の調整額△5,732千円には、のれん償却額△3,090千円、棚卸資産の調整額△1,674千円、その他△967千円が含まれております。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。